

2020年度(評価対象期間:2020年4月~2021年3月) 自己点検・評価シート

1. 現状説明

※自己評価は、「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、「C:重度な問題がある」いずれかを選択。

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
①	大学の理念・目的を適切に設定しているか。また、それを踏まえ、学部・研究科の目的を適切に設定しているか。	(1)	学部・学科ごと、研究科又は専攻ごとに人材育成その他の教育研究上の目的を設定していますか。また、その内容は適切ですか。	A
		(2)	大学の理念・目的と学部・研究科の目的に関連性がありますか。	A
〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
(1) 「人材育成その他の教育研究上の目的」について歯学部キャンパスガイドP1「人材の養成・教育研究上の目的」及び本学ホームページ上で公表されており、「愛知学院大学人材の養成・教育研究上の目的に関する規程」に基づいており適切である。				
(2) 大学の理念・目的に基づき設定している「愛知学院大学人材の養成・教育研究上の目的に関する規程」より、歯学部の人材養成・教育研究上の目的を定めているため、関連性がある。				
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
歯学部キャンパスガイド(P ii 本学の教育理念)				
愛知学院大学ホームページ(各学部の「人材育成・教育研究上の目的」)				
愛知学院大学人材の養成教育研究上の目的に関する規程				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
②	大学の理念・目的及び学部・研究科の目的を学則又はこれに準ずる規則等に適切に明示し、教職員及び学生に周知し、社会に対して公表しているか。	(1)	学部・学科ごと、研究科又は専攻ごとに設定する人材育成その他の教育研究上の目的を適切に明示していますか。	A
		(2)	教職員、学生、社会に対する刊行物、ウェブサイト等により、大学の理念・目的、学部・研究科の目的等が周知及び公表されていますか。	A
〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
(1) 歯学部の人材育成その他の教育上の目的を「愛知学院大学人材の養成・教育研究上の目的に関する規程」に明示している。				
(2) 「愛知学院大学人材の養成・教育研究上の目的に関する規程」の内容をキャンパスガイド、愛知学院大学ホームページに掲載し、教職員及び学生に周知するとともに、社会に公表している。				
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
歯学部キャンパスガイド(P1 人材の養成・教育研究上の目的)				
愛知学院大学ホームページ(各学部の「人材育成・教育研究上の目的」)				
愛知学院大学人材の養成・教育研究上の目的に関する規程				

2. 長所・特色

有意な成果が見られる事項、先駆性・独自性のある事項がある場合、目標として意図した成果が何であったかを明らかにしたうえで、実際にあがった成果が確認できる根拠を示しながら記述してください。 特にない場合は「なし」としてください。

点検・評価項目番号	長所・特色
	なし

[根拠資料] 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。

根拠資料名

3. 課題・問題点

理念・目的を実現する上での課題、基礎要件に関する問題、大学としてふさわしい水準を確保する上での問題がある場合、記述してください。 特にない場合は「なし」としてください。

点検・評価項目番号	課題・問題点
	なし

4. 課題・問題点に対する改善策

「3. 課題・問題点」の事項の改善策がある場合は、その具体的な計画(既に実施している場合はその進捗状況も含めて)を記述してください。

点検・評価項目番号	改善策

[根拠資料] 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。

根拠資料名

5. 「基準1」全体の自己評価

<p>基準全体の評価を、 「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、 「C:重度な問題がある」から選択してください。</p>	<p>自己評価</p> <p>A</p>
---	----------------------

2020年度(評価対象期間:2020年4月~2021年3月) 自己点検・評価シート

1. 現状説明

※自己評価は、「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、「C:重度な問題がある」いずれかを選択。

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
③	方針及び手続に基づき、内部質保証システムは有効に機能しているか。	(1)	学部・研究科その他の組織における定期的な点検・評価及び点検・評価結果に基づく改善・向上に向けた取り組みを計画的に実施していますか。	A
<p>〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるように具体的に説明してください。</p> <p>(1) 毎年2回程度開催される歯学部自己点検・評価委員会は愛知学院大学歯学部自己点検・評価委員会内規に基づいて歯学部の教育理念・目標および歯学部の3つの方針について、全学的なそれとの整合性を検討し、教育の充実、学習成果の向上を目指している。令和2年4月より歯学部の中期目標・中期計画(6年間)を作成し、歯学部ホームページ上に公開した。同委員会の検討結果は歯学部教授会においてさらに審議され、それに基づいて改善向上の方策が検討される。歯学部自己点検・評価委員会には外部委員(1名)を含んでいる。 自己点検自己評価委員会委員からの依頼に基づき、愛知学院大学歯学部教員資格審査内規、愛知学院大学歯学部教員資格審査委員会規程および愛知学院歯学部教員の採用および承認に関する審査基準の指針を制定し平成31年4月1日から施行した。また専任教員の評価のために愛知学院大学歯学部教員資格審査内規の改定と愛知学院大学歯学部における教員活動の業績評価指針の制定を行い、令和2年4月1日より施行した。是に則り令和2年4月1日より初年度の目標シートの作成、また、令和3年1月からは、教員自己評価表への記入を行っている。 進級及び最低修業年限での歯科医師国家試験合格率ならびに歯科医師国家試験合格率の向上等を目的として、平成31年度より新たに歯学教育情報管理分析(IR)室を設置した。IR室において、教育に関する情報を収集し、教育の改善に資する調査・分析の客観的データを教授会に提供した。 歯学部の中期目標・中期計画が円滑に実行するために、下記に示す各種規定を改定または新設した。令和2年度第14回歯学部教授会にて、歯学部進級及び卒業判定等に関する規定、歯学部試験に関する規定、歯学部再試験に関する規定の一部の改訂を検討し、承認した。また、令和2年度第15回歯学部教授会にて、教員活動の業績評価指針の一部改訂を検討し、承認した。さらに令和2年度第16回歯学部教授会にて、歯学部教授会規程に自己評価に関する事項、中期目標・計画などの項目を含む改定を検討し、承認した。歯学部の教育研究に関する教員の組織及び運営に関する必要事項を定め、責任体制の確立と運営の効率化を図ることを目的とした、歯学部教員組織規程を新たに作成し令和2年度第17回歯学部教授会にて検討を行った。 また、「ルーブリック評価」について「レポート評価用ルーブリック」・「ケースプレゼンテーション用ルーブリック」・「アウトカム「レジン補充」評価用ルーブリック」といった委員にて作成した3種類のひな形を基に協議をし、今後の歯学部における「ルーブリック評価」のあり方について3つのポリシーや中期計画等に絡めて、歯学部教務委員会及びカリキュラム委員会にて継続して審議が必要である旨を確認した。 令和2年度は、新型コロナウイルス対策のため、大幅なカリキュラムの変更を必要とする「ルーブリック評価」についての討議は、一時中断している。しかし、令和3年度新カリキュラム(2021)に対応すべく、教務委員会にて継続的な審議を行っている。</p>				
<p>〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。</p>				
根拠資料名				
愛知学院大学歯学部自己点検・評価委員会内規				
愛知学院大学歯学部自己点検・評価委員会議事録(R2. 3. 19)				
愛知学院大学歯学部教員資格審査内規				
愛知学院大学歯学部教員資格審査委員会規程				
愛知学院歯学部教員の採用および承認に関する審査基準の指針				
愛知学院大学歯学部における教員活動の業績評価指針				
歯学部の中期目標・中期計画 http://www.dent.aichi-gakuin.ac.jp/disclosures/index.html				
令和2年度第14回歯学部教授会議事録				
令和2年度第15回歯学部教授会議事録				
令和2年度第16回歯学部教授会議事録				
令和2年度第17回歯学部教授会議事録				
令和2年度第6回、7回、9回、10回、11回、13回、14回、並びに臨時(9/23)歯学部教務委員会議事録				

2. 長所・特色

有意な成果が見られる事項、先駆性・独自性のある事項がある場合、目標として意図した成果が何であったかを明らかにしたうえで、実際にあがった成果が確認できる根拠を示しながら記述してください。特にない場合は「なし」としてください。	
点検・評価項目番号	長所・特色
	なし
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。	
根拠資料名	

3. 課題・問題点

理念・目的を実現する上での課題、基礎要件に関する問題、大学としてふさわしい水準を確保する上での問題がある場合、記述してください。特にない場合は「なし」としてください。	
点検・評価項目番号	課題・問題点
	なし

4. 課題・問題点に対する改善策

「3. 課題・問題点」の事項の改善策がある場合は、その具体的な計画(既に行っている場合はその進捗状況も含めて)を記述してください。	
点検・評価項目番号	改善策
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。	
根拠資料名	

5. 「基準2」全体の自己評価

基準全体の評価を、「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、「C:重度な問題がある」から選択してください。	自己評価
	A

2020年度(評価対象期間:2020年4月~2021年3月) 自己点検・評価シート

1. 現状説明

※自己評価は、「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、「C:重度な問題がある」いずれかを選択。

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
①	授与する学位ごとに、学位授与方針を定め、公表しているか。	(1)	課程修了にあたって、学生が修得することが求められる知識、技能、態度等、当該学位にふさわしい学習成果を明示した学位授与方針を適切に設定し公表していますか。	A
<p>〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p> <p>(1) 大学全体のDPに則した方針でありつつ、患者さんを診る歯科医師を養成するという歯学部の特異性にふさわしい学位授与方針を明示した学部のDPについて、歯学部自己点検・評価委員会および歯学部教授会にて、協議した上で設定し、年度毎に確認を行いながら、歯学部キャンパスガイド及び大学のホームページ上に公表している。</p>				
<p>〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。</p>				
根拠資料名				
歯学部キャンパスガイド				
歯学部教授会議事録(令和元年7月24日)				
第1・2回 歯学部自己点検・自己評価委員会議事録				
愛知学院大学歯学部ホームページ_学部紹介_建学の精神 (http://www.dent.aichi-gakuin.ac.jp/spirit/index.html)				
愛知学院大学ホームページ_大学案内_教育理念・各種方針_ディプロマポリシー_学部 (https://www.agu.ac.jp/pdf/guide/ideal/diploma01.pdf)				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
②	授与する学位ごとに、教育課程の編成・実施方針を定め、公表しているか。	(1)	下記内容を備えた教育課程の編成・実施方針の設定及び公表をしていますか。 ・教育課程の体系、教育内容 ・教育課程を構成する授業科目区分、授業形態等	A
		(2)	教育課程の編成・実施方針と学位授与方針には適切な連関性がありますか。	A
<p>〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p> <p>(1) 大学全体のCPに沿う形で、歯学部の独自性に即した教育課程の編成・実施方針を学部のCPに定めている。歯学教育コアカリキュラムと歯科医師国家試験出題基準の改変に合わせて、教育課程の体系、教育内容、授業科目区分、授業形態について歯学部カリキュラム委員会・歯学部教務委員会および歯学部教授会において行ない設定し、年度ごとに編成と教育内容を検証しながら適時改変および修正を加えた上で、歯学部キャンパスガイドおよび大学のホームページ上に公表している。</p> <p>(2) 歯学部自己点検・評価委員会、歯学部教務委員会および歯学部教授会において、DP(学位授与方針)やCP(教育課程の編成・実施方針)を策定し、毎年度検証を行うことで、適切な連関性が保たれている。</p>				
<p>〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。</p>				
根拠資料名				
歯学部キャンパスガイド				
歯学部カリキュラム委員会議事録(令和元年7月1日)				
愛知学院大学歯学部ホームページ_学部紹介_建学の精神 (http://www.dent.aichi-gakuin.ac.jp/spirit/index.html)				
愛知学院大学ホームページ_大学案内_教育理念・各種方針_カリキュラムポリシー_学部 (http://www.agu.ac.jp/pdf/guide/ideal/curriculum01.pdf)				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
③	教育課程の編成・実施方針に基づき、各学位課程にふさわしい授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成しているか。	(1)	教育課程の編成・実施方針と教育課程の整合性はとれていますか。	A
		(2)	教育課程の編成にあたっての順次性及び体系性への配慮、授業科目の位置づけ(必修、選択等)は適切ですか。	B
		(3)	個々の授業科目の内容及び方法は、教育課程の編成・実施方針を踏まえていますか。	A
		(4)	各学位課程にふさわしい教育内容を設定していますか。 <学士課程> 初年次教育、高大接続への配慮、教養教育と専門教育の適切な配置等 <修士課程、博士課程> コースワークとリサーチワークを適切に組み合わせた教育への配慮等	B
		(5)	学生の社会的及び職業的自立を図るために必要な能力を育成する教育を適切に実施していますか。	A
<p>〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p> <p>(1) 開設する授業科目については「歯学教育モデル・コア・カリキュラム」、「歯科医学教授要綱」、「歯科医師国家試験出題基準」等に基づき、「教育課程編成・実施の方針」に従って、歯学部教務委員会で検討し、作成された原案を歯学部教授会で審議して決定している。歯学部が担当する専門教育課程に関しては、歯学部教務委員会・歯学部カリキュラム委員会で検討し、体系的に編成された原案を歯学部教授会で審議して決定している。このように、教育課程の編成・実施方針と教育課程の整合性の確認は、歯学部カリキュラム委員会・歯学部教務委員会および歯学部教授会にて毎年度行っており、その整合性が保たれている。</p> <p>(2) 歯科医に必要な幅広い知識と技術を全て習得するという特殊性から、歯学部専門教育科目は全て必修としており、幅広い内容を扱う多くの教養科目を選択している。専門教育科目については、基礎から応用への順次性及び体系性を確保するために学年制を採用している。共用試験(CBT)後の学生アンケートなどに基づき、毎年度歯学部カリキュラム委員会で検証を行うことで、順次制のある授業科目の体系的配置に努めている。今年度この検証に基づき、一部の専門科目に関して令和3年度からの順次性を改良した新カリキュラムを制定した。さらに現在、歯学部カリキュラム委員会・歯学部教務委員会・歯学部教授会等において、カリキュラム全体の実施状況を検証して順次性及び体系性の問題点を確認した上で、次の歯学教育モデル・コア・カリキュラム改訂に合わせた変更を計画し、協議している。</p> <p>(3) 個々の授業科目の内容及び方法について、CPの教育課程の編成・実施方針に沿った形で、講義・実習内容を組み立て、シラバスの作成を行なっていることを、歯学部教務委員会・カリキュラム委員会および歯学部教授会において、毎年度確認している。特に、各授業回ごとに、GIOおよびSBOs、教科書の該当ページ、授業時間に等しい時間の予習と復習、歯学教育モデル・コア・カリキュラムへの対応についてシラバスに明記してあること毎年チェックすることで、CPに整合性があることを検証している。</p> <p>(4) 学士課程においては、入学前に高大接続に配慮した通信講座を開設し、実施結果を毎年教務主任とIR室が確認し、入学後の成績と相関をとることで効果を確認している。初年次教育では、歯学の基礎として重要な理科科目については入学直後のプレイメントテストを実施して受講の指導を行い、課題テスト等成績に応じた補習授業を行うことで高大接続に配慮している。教養科目のほとんどは第一学年に行うことで、第2学年以降の専門科目へ繋がるように適切に配置しており、該当科目担当講座が、学生の理解度をチェックすることで、教育内容を改良することで教育効果を得ている。第1学年を中心に開設する教養科目については、「愛知学院大学歯学部の履修等に関する取決め」に従い、教育を担当する教養部と協議し、決定している。2015年度から導入した現行カリキュラムでは、早期体験学習を可能にする目的で、第1学年時の専門教育科目を従来の2単位から現行の6単位へ変更し、「歯学入門セミナーⅠ～Ⅴ」では歯学部で学ぶために必要となる基本的知識、自主的な問題発見と問題解決能力を養う内容を取り入れており、学生アンケート等に基づき、内容を歯学部カリキュラム委員会で精査している。一方で、進級率・修業年限での歯科医師国家試験合格の改善に向けて、実習の教育内容改善に向けたFDを実施し来年度の教育内容を見直しながら、再来年度以降に計画している教養科目と専門科目をより適切に配置したカリキュラムの刷新を準備している。博士課程においては、授業によるコースワークと各研究室でのリサーチワークを組み合わせた教育を実施し、院生アンケート等に基づいた検証を行い、適切性を確保している。</p> <p>(5) 歯学部の「教育目標・理念」に記載されているように、歯学部教育は歯科臨床に携わる歯科医師を育成することを第一義としており、教育課程の全体が「学生の社会的及び職業的自立を図るために必要な能力を育成する教育」の課程となっている。このように、優秀な歯科医師を養成するための教育課程編成を心がけており、これらは、歯学部カリキュラム委員会・歯学部教務委員会および歯学部教授会にて協議・確認されて決定している。キャリア教育の具体例として、「歯科入門セミナーⅡ～Ⅴ」では歯科医師としてのキャリアデザインに資する講義、実習、病院見学を行っている。臨床実習前にはOSCE並びにCBTにより、基本技能と知識を確認できてから望む体型になっており、基本的な臨床実習後にはPost-CC OSCE(次年度からPost-CC PXとして本格実施)並びに総合試験により、一定以上のレベルの歯科医師として就労できると認定されないと卒業できないシステムになっている。これにより、歯科医師として一般診療を行うための基本的知識と技能と社会的・職業的自立に必要な能力を、十分に修得できる教育を実施している。</p>				

〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。
根拠資料名
歯学部キャンパスガイド
第1学年～第5学年シラバス
愛知学院大学歯学部ホームページ_学部紹介_建学の精神 (http://www.dent.aichi-gakuin.ac.jp/spirit/index.html)
愛知学院大学入試情報サイト_学部・学科_歯学部歯学科 (http://navi.agu.ac.jp/faculty/dentistry/)
歯学部カリキュラム委員会議事録(令和元年7月1日)

点検・評価項目		評価の視点	自己評価
④	学生の学習を活性化し、効果的に教育を行うための様々な措置を講じているか。	(1) 単位の実質化を図るための措置(授業時間外に必要な学習の促進、学士課程においては履修登録単位数の上限設定等)を講じていますか。	A
		(2) シラバスの内容(授業の目的、到達目標、学習成果の指標、授業内容及び方法、授業計画、授業準備のための指示、成績評価方法及び基準等の明示)は適切ですか。授業内容とシラバスとの整合性が確保されていますか。	A
		(3) 学生の主体的参加を促す授業形態、授業内容及び授業方法などの措置を講じていますか。	A
		(4) 各学位課程に応じてその他の措置を講じていますか。 <学士課程> ・授業形態に配慮した1授業あたりの学生数、適切な履修指導の実施 <修士課程、博士課程> ・研究指導計画(研究指導の内容及び方法、年間スケジュール)の明示とそれに基づく研究指導の実施	A

〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。
(1) 歯学部カリキュラム委員会・歯学部教務委員会および歯学部教授会にて協議・確認することで、単位の実質化を図るための措置を講じている。シラバスに授業時間外に必要な学習内容と時間を記載しており、歯学部キャンパスガイド(履修要項)に授業時間外に必要な学習時間を記載している。授業時間外に必要な学習を促進するために、授業回ごとに授業時間外のレポート課題を与えて提出を義務付け、さらに教養部アドバイザー制度、コミュニケーションサポートシステム(CSS)、および国家試験受験支援室という学年応じたチューター制度を設けて、チューター教員の指導のもと、自習室を開放しながら授業時間外の学習支援を行っている。また、学士課程においては、多くの教養選択科目に上限を設定しながら、学年制の中で大部分の授業科目が必修科目であるため、履修登録単位数の上限は自動的に設定されている。
(2) 歯学部カリキュラム委員会・歯学部教務委員会および歯学部教授会で、シラバスの内容が適切であるかを毎年協議・確認している。シラバスの内容として、授業の目的、教材・教科書と参照ページ、参照URL、一般目標(GIO)、到達目標(SBOs)、歯学教育モデル・コア・カリキュラムの各項目との対応、授業内容及び方法、成績評価方法、予習・復習等についての具体的内容と所要時間、等を明示している。また、授業評価アンケートで「授業内容は授業計画に沿ったものだったか」等の設問を設けており、概ね良好な結果を得ていることから、授業内容とシラバスとの整合性は確保できている。
(3) 授業の学習の活性化や参加型学習の為に、パワーポイントを用いた授業を主体とし、質問・議題を学生に投げかけるような工夫を凝らした授業を展開し、空欄穴埋め式の授業資料の配布や授業に関するレポートの提出、到達度確認テスト(Formsなどを活用)等を実施している。さらに、Microsoft Teamsを活用し、録画した授業内容は、後日復習のために何時でも視聴できるように学習支援を行っている。また、理想的な実習を展開した講座の取り組みをFD講演会で紹介し、学部内教員が授業・実習の方向性を共有した。

(4)
 学士課程において、歯学部は学生数が100名以上であり、授業の大部分が一括授業であるが、座席位置による不利益が出ないように視聴覚機材の充実に努めている。コロナ禍においては、半数は対面で、残りの半数はオンラインLIVE講義・実習とする措置をとった。さらに、録画した授業内容は、いつでも視聴でき、授業中の理解不足部分を復習できるようにしている。また、CSS (Communication Support System) という学習支援体制を導入・運用されている。これは、1～4年生が対象で、15～20名程度の学生に対して1名の教員を配置し、教員が学生の生活と学習の問題点の把握と生活面でのアドバイスや学習支援を行うものである。5,6年生に対しては以前からCSSと同様のシステムが運用されており、学生主体のグループ学習を支援する目的で夕方以降にセミナー室や一部の講義室を開放し、さらに6年生に対しては、自習室を確保しているだけでなく、自己学習の支援を行う目的で、10名程度の学生に対して学生が選んだ教員(チュータ)を配置し、毎週それぞれの学習状況確認や学習支援、学生生活上の相談を行っている。

〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。

根拠資料名

第1学年～第5学年シラバス

コミュニケーションサポートシステム(CSS)について(資料)

歯学部カリキュラム委員会議事録(第2回令和2年5月25日、第4回令和2年8月3日)

国家試験受験支援室メンバー表

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
⑤	成績評価、単位認定及び学位授与を適切に行っているか。	(1)	単位制度の趣旨に基づく単位認定を行っていますか。また、既修得単位の適切な認定を行っていますか。	A
		(2)	成績評価の客観性、厳格性を担保するための措置を講じていますか。	A
		(3)	卒業・修了要件を明示していますか。	A
		(4)	〈修士課程・博士課程〉 学位論文審査基準を明示していますか。	
		(5)	学位審査及び修了認定の客観性及び厳格性を確保するためにどのような措置を講じていますか。 学位授与に係る責任体制及び手続は明示されていますか。	A
		(6)	適切に学位授与を行っていますか。	A

〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。

(1)
 単位認定に関しては「愛知学院大学学則第7条」と「愛知学院大学歯学部の履修等に関する取決め」に明記している。また、他大学等での既修得単位の認定については、「愛知学院大学学則第8条の2」に明記しており、適切に単位認定を行っている。

(2)
 成績評価に関しては「愛知学院大学歯学部の履修等に関する取決め」及び「愛知学院大学歯学部の試験に関する内規」、「歯学部の再試験に関する申合せ」、「試験に関する不正行為に関する内規」、「愛知学院大学の単位認定及び成績評価に関するガイドライン」に従って、客観性・厳格性を担保して行われている。また、シラバスに評価方法・基準を明示し、毎年シラバスチェックを行って評価方法が適切であるか確認している。学生からの成績評価についての問い合わせを受け、対応するシステムもあり、学生に不利益がないように工夫している。

(3)
 卒業要件に関しては、「愛知学院大学学則第8条」及び「歯学部キャンパスガイド」(p58,59)に学生にもわかりやすいように明記されている。

(4)

(5)
 学士の学位審査(卒業認定)に関しては、「愛知学院大学学則第8条」及び「愛知学院大学学位記授与に関する規程」に従い、歯学部教授会で審議の上、代表教授会で決定しており、客観性、厳格性が確保されている。また、学士の学位授与に係る責任体制及び手続としては、歯学部教授会の議を経たうえ、代表教授会で審議する体制としている。

(6)
 歯学部教授会および代表教授会において客観性及び厳格性が確保された状態で学位審査が行われた後に、卒業認定を行っている。その後、対象者一同への学位授与を行う学位授与式を行っている。

〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。

根拠資料名

歯学部キャンパスガイド

第1学年～第5学年シラバス

愛知学院大学学位授与に関する規程

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
⑥	学位授与方針に明示した学生の学習成果を適切に把握及び評価しているか。	(1)	各学位課程の分野の特性に応じて、学位授与方針に示した学習成果を測定するための多角的で適切な指標設定を行っていますか。	A
		(2)	学習成果を把握及び評価するために適切な測定方法を用いていますか。 ≪学習成果の測定方法例≫ ・アセスメント・テスト ・ルーブリックを活用した測定 ・学習成果の測定を目的とした学生調査 ・卒業生、就職先への意見聴取	A

〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。

- (1)
 学内試験及び実習の成績ならびに全国の歯学部学生が受験する共用試験(CBT、OSCE)及び歯科医師国家試験の成績を用いて、多角的に学習成果を測定している。これらは、歯学部教授会にて協議・確認されている。さらに、全国模擬試験の成績を分析し、適切な指標設定となっているかの点検・評価に活用している。
- (2)
 学習成果を把握・評価する為の測定方法としては、筆記試験、課題レポート(一部でルーブリック方式を採用)、口頭試問、模型を用いた技能試験、ならびに共用試験を行うことと、学生への授業アンケート調査、さらに学年主任主体で卒業時のアンケートを行うなどして、PDCAサイクルに繋げるように努めている。また、学習成果向上に繋げるために、国家試験終了後には、各講座で問題や正答率の分析から授業内容の改訂に活かすように努めている。

〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。

根拠資料名

歯学部教授会議事録(令和3年1月20日)

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
⑦	教育課程及びその内容、方法の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)	適切な根拠(資料、情報)に基づく点検・評価を行っていますか。 ・学習成果の測定結果の適切な活用	A
		(2)	点検・評価結果に基づき、改善・向上に向けた取り組みを行っていますか。	A
<p>〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p> <p>(1) 歯学部4年生は秋学期に共用試験(CBT、OSCE)を受験する。共用試験は歯学教育モデル・コア・カリキュラムに準拠した全国共通の標準評価試験である為、この結果と6年生が卒業直前に受験する歯科医師国家試験の成績によって教育成果の検証を行い、教育過程や教育内容・方法の改善に結びつけている。特に、国家試験終了後には、各講座で問題や正答率を分析し、授業内容のブラッシュアップを行うように努めている。また、学生による授業アンケート評価の結果についても、教員が検討し、講義・実習の改善に繋げている。しかし、このアンケートに関しては歯学部の特性上、講座単位の授業評価等も考慮する必要があると思われる。学年主任主体で行う卒業時のアンケートは、全ての学習過程を修了した上での率直な意見が多く、今後さらに活かしていく必要がある。</p> <p>(2) 2015年より歯学部においては新カリキュラムが導入・運用されており、これはこれまでの点検・評価結果に基づき、内容の見直しを行ったものである。新カリキュラムの導入により、早期体験学習の実質化、学習意欲の高揚、学習レベルの向上、学習効率の改善を目指している。今後、新たなモデルコアカリキュラム改訂に合わせた、さらに新しいカリキュラムを策定予定としている。</p>				
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
歯学部キャンパスガイド				
令和2年度春学期 歯学部「学生による授業アンケート」集計表 http://www.agu.ac.jp/~agukyomu/jikotenken/jyugyoannketo-R2s/jyugyoannketo-ha-R2s.pdf				

2. 長所・特色

有意な成果が見られる事項、先駆性・独自性のある事項がある場合、目標として意図した成果が何であったかを明らかにしたうえで、実際にあがった成果が確認できる根拠を示しながら記述してください。特にない場合は「なし」としてください。	
点検・評価項目番号	長所・特色
③	歯学部においては優秀な歯科医師を養成するため、臨床実習では、スチューデントデンティストとして治療の一部を積極的に行っている。これにより歯科医療の基本的技能を習得し、卒業後には歯科医師として就労し十分に活躍できるようなシステムを構築してきている。
④	進級や卒業率の向上(進級不可者率の低減)ならびに歯科医師国家試験合格率の向上等を目的として、新たに歯学教育情報管理分析(IR)室を設置した。IR室において、教育に関する情報を収集し、教育の改善に資する調査・分析の客観的データを提供することで、より活発なPDCA体制の構築を行っていく予定である。
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。	
根拠資料名	
愛知学院大学入試情報サイト_学部・学科_歯学部歯学科 (http://navi.agu.ac.jp/faculty/dentistry/)	
愛知学院大学歯学部歯学教育情報管理分析室規程	

3. 課題・問題点

理念・目的を実現する上での課題、基礎要件に関する問題、大学としてふさわしい水準を確保する上での問題がある場合、記述してください。特にない場合は「なし」としてください。

点検・評価項目番号	課題・問題点
	なし

4. 課題・問題点に対する改善策

「3. 課題・問題点」の事項の改善策がある場合は、その具体的な計画(既の実施している場合はその進捗状況も含めて)を記述してください。

点検・評価項目番号	改善策

〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。

根拠資料名

5. 「基準4」全体の自己評価

基準全体の評価を、 「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、 「C:重度な問題がある」から選択してください。	自己評価
	A

2020年度(評価対象期間:2020年4月~2021年3月) 自己点検・評価シート

1. 現状説明

※自己評価は、「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、「C:重度な問題がある」いずれかを選択。

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
①	学生の受け入れ方針を定め、公表しているか。	(1)	学位授与方針及び教育課程の編成・実施方針を踏まえた学生の受け入れ方針を適切に設定し、公表していますか。	A
		(2)	下記内容を踏まえた学生の受け入れ方針を設定していますか。 ・入学前の学習歴、学力水準、能力等の求める学生像 ・入学希望者に求める水準等の判定方法	A
<p>〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p> <p>(1) 各種入学試験の基準を設定するとともに、学位授与方針(DP)、教育課程の編成・実施方針(CP)を踏まえたアドミッションポリシーを公表し、アドミッションポリシーに沿った学生を入学させている。</p> <p>(2) 入学前の学習歴や学力水準および能力の求める学生像は、アドミッションポリシーに記載している。また、入学希望者に求める水準の判定方法は、入学時学力テストおよびプレイズメントテストなどを行い、入学前の学習歴、学力水準及び能力を判定している。入学希望者に求める水準等の判定は、各種入学試験後に試験成績、小論文及び面接などの評価を総合的な成績を元に最低基準を設定し入学の可否について判定している。</p>				
<p>〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。</p>				
根拠資料名				
大学HP-大学案内-教育理念-各種方針-アドミッションポリシー				
歯学部教授会議事録(令和元年7月24日)				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
②	学生の受け入れ方針に基づき、学生募集及び入学者選抜の制度や運営体制を適切に整備し、入学者選抜を公正に実施しているか。	(1)	学生の受け入れ方針に基づき学生募集方法及び入学者選抜制度を適切に設定していますか。	A
		(2)	入試委員会等、責任所在を明確にした入学者選抜実施のための体制を適切に整備していますか。	A
		(3)	公正な入学者選抜を実施していますか。	A
		(4)	入学を希望する者への合理的な配慮に基づく公平な入学者選抜を実施していますか。	A
<p>〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p> <p>(1) 前年度入学試験終了後より、歯学部入試検討小委員と入試検討小委員会にて、次年度についてアドミッション・ポリシーに基づき募集方法や入学選抜制度について検討し、その検討結果を歯学部入試委員が出席する入試委員会に報告する。そして、前年度の入学試験による募集人員、入学者数、入学者の成績などを指標として、再度、入試委員会にて、次年度の募集方法や入学選抜制度について設定している。</p> <p>(2) 毎月一度、各学部の入試委員と入試センターによる入試委員会を開催し、各学部の入学者の定員や成績などの情報が共有できるようにしている。つまり、各学部の情報を学内において公表している。歯学部においては、歯学部長、基礎系教務主任および臨床系教務主任が入試委員として、その入試委員会に参加し、その入試委員会での検討事項を歯学部教授会にて審議し、歯学部教授会の意見を入試委員会にて、歯学部入試委員が報告する体制を整えている。</p>				

(3)
各入学試験終了後に、歯学部入試委員が、入学試験、面接および高校の成績、志望理由などの資料を基にして、入学者の選抜を行った後に、そのつど入試委員会を開催し、全学部の入試委員へ、選抜基準を説明し、入試委員の意見を集約して、適切な判断をするための確認作業を行っている。

(4)
障害のある学生が、他の学生と平等に「教育を受ける権利」を享有・行使することを確保するために、今年度、歯学部・歯学研究科障がい学生支援委員会を立ち上げ、その委員会の内規を設定した。一方で、歯学部の定期試験等で、別室受験や試験時間の延長は難しいですが、信仰を配慮した試験時等の昼食の個別対応は行う等、適切な変更・調整を行っています。しかしながら、全ての要求を受け入れることができる体制にはなっていません。

〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。

根拠資料名

入試ガイド

愛知学院大学入学試験委員会規程

愛知学院大学歯学部・歯学研究科障がい学生支援委員会内規

点検・評価項目		評価の視点	自己評価
③	適切な定員を設定して学生の受け入れを行うとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。	(1) 入学定員及び収容定員を適切に設定し、在籍学生数を管理していますか。 <学士課程> ・入学定員に対する入学者数比率 ・編入学定員に対する編入学生数比率 ・収容定員に対する在籍学生数比率 ・収容定員に対する在籍学生数の過剰又は未充足に関する対応 <修士課程、博士課程、専門職学位課程> ・収容定員に対する在籍学生数比率	A

〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。

(1)
入学定員については、前年度の受験者数、受験者の出身、入学者数、未入学者数などを調査し、教授会において検討し、その決定事項を歯学部入試委員が入試センターに報告し、入試センターと協調しながら、入学定員を決定している。在籍学生数については、毎月、管理している。現在、編入学による編入学生は受け入れていません。したがって、入学時の収容定員を適切に行うことを最も重要視しています。

〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。

根拠資料名

平成31年度 第1回歯学部教授会議事録

令和2年度 第1回歯学部教授会議事録

点検・評価項目		評価の視点	自己評価
④	学生の受け入れの適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1) 適切な根拠(資料、情報)に基づく点検・評価を行っていますか。	A
		(2) 点検・評価結果に基づき改善・向上に向けた取り組みを行っていますか。	A

〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。

(1)
4年次に行う共用試験、5年次に行う総合示説試験、6年次に行う総合示説試験、卒業試験、及び国家試験の成績を資料として、歯学部教授会にて、毎年成績を確認し、入学者の適切性について評価している。また、各学年末に、各学年の進級判定会議を開催し、その結果を基にして入学者の適切性の判断を行い、改善・向上に向けた取り組みを行っている。

(2)
4年次に行うCBT、5年次と6年次に行う総合示説試験、6年次に行う総合歯学試験および卒業試験の合格判定基準について、歯学部教務委員会にて検討し、その検討した結果を歯学部教授会に報告し、歯学部教授会にて合格基準の見直しをして、毎年、決定する取り組みを行っている。

〔根拠資料名〕上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。

根拠資料名

令和2年度臨時卒業判定教授会(令和3年1月8日)、歯学部教授会議事録(令和3年1月20日、1月27日、2月10日)

愛知学院大学歯学部の試験に関する内規

2. 長所・特色

有意な成果が見られる事項、先駆性・独自性のある事項がある場合、目標として意図した成果が何であったかを明らかにしたうえで、実際にあがった成果が確認できる根拠を示しながら記述してください。特にない場合は「なし」としてください。

点検・評価項目番号	長所・特色
	なし

〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。

根拠資料名

3. 課題・問題点

理念・目的を実現する上での課題、基礎要件に関する問題、大学としてふさわしい水準を確保する上での問題がある場合、記述してください。特にない場合は「なし」としてください。

点検・評価項目番号	課題・問題点
	なし

4. 課題・問題点に対する改善策

「3. 課題・問題点」の事項の改善策がある場合は、その具体的な計画(既にも実施している場合はその進捗状況も含めて)を記述してください。

点検・評価項目番号	改善策

〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。

根拠資料名

5. 「基準5」全体の自己評価

基準全体の評価を、 「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、 「C:重度な問題がある」から選択してください。	自己評価
	A

2020年度(評価対象期間:2020年4月~2021年3月) 自己点検・評価シート

1. 現状説明

※自己評価は、「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、「C:重度な問題がある」いずれかを選択。

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
①	大学の理念・目的に基づき大学として求める教員像や各学部・研究科等の教員組織の編制に関する方針を明示しているか。	(1)	各学部・研究科等の教員組織の編制に関する方針を適切に明示していますか。	A
<p>[現状] 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p> <p>(1) 歯学部における教員組織の編制方針を策定し(R2年3月11日歯学部教授会)、教員組織の編制方針を適切に定めている。</p> <p>[根拠資料] 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。</p> <p style="text-align: center;">根拠資料名</p> <p>歯学部教員組織の編制方針</p>				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
②	教員組織の編制に関する方針に基づき、教育研究活動を展開するため、適切に教員組織を編制しているか。	(1)	大学全体及び学部・研究科等ごとの専任教員数は適切ですか。	A
		(2)	学部・研究科等ごとの専任教員数を適切に維持するため、計画的に募集・採用・昇任等を実施していますか。	A
		(3)	教員組織の編制に関する方針に基づき、適切に教員組織を編制していますか。 ・教育上主要と認められる授業科目における専任教員(教授、准教授、講師又は助教)の適正な配置 ・各学位課程の目的に即した教員配置(国際性、男女比等も含む) ・研究科担当教員の資格の明確化と適正な配置 ・教員の授業担当負担への適切な配慮 ・バランスのとれた年齢構成に配慮した教員配置	B
		(4)	学士課程における教養教育の運営体制は適切ですか。	A
<p>[現状] 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p> <p>(1) 2020(令和2年度)年5月1日現在における歯学部教員の構成は、専任教員数147人、主任教授18人、教授、准教授又は講師の合計数105人で、大学設置基準に定める「専任教員数106人以上、教授、准教授又は講師の合計数36人以上、教授18人以上」の条件を満たしており、講座毎の専任教員の定員も選考中の2講座を除いて満たされている。また、専門課程における2020(令和2)年5月1日現在の専任教員一人当たりの学生数は4.4(2~6年生:651名÷147人(専任教員数)人)であり、教員組織は適切に整備されていると言える。なお、上記の専任教員に加えて、非常勤講師895名も教育に携わっている。</p> <p>(2) 歯学部は講座制を採用しており、基礎系8講座と臨床系15講座の計23講座からなる教員組織によって教育を実施している。歯学部専門教育科目について、2科目(隣接臨床医学、歯科法医学)を除き、全科目を歯学部のいずれかの講座が責任講座になって担当しており、基礎系および臨床系講座の設置状況は妥当と思われる。 基礎系講座に所属する専任教員の定数は4名である。臨床系講座に所属する専任教員の定数については、内科学講座5名、外科学講座3名、麻酔学講座、口腔衛生学講座、歯科放射線学講座は5名、他の10講座は9名である。各講座は主任教授、准教授、講師、助教から構成されており、講座により構成は異なる。一部の臨床系講座には特殊診療科教授が配置されている。 授業科目担当教員の選任にあたっては、教育歴・研究歴に基づいて、授業科目担当者に相応しい常勤または非常勤講師を採用するか、既に採用されている教員の中から適任者を選定しており、いずれの場合においても歯学部教授会の議を経て決定される。</p>				

(3)
専任教員の女性比率は25%である。講座制を採用しているため、教員の授業担当負担については、講座主任が担当教員の意見を参考にして調整している。教員の年齢構成についても、講座単位で講座主任が検討しつつ、教員の採用申請を行っている。2020(令和2)年5月1日現在における専任教員の構成は、20-29歳が0%、30-39歳が21.1%、40-49歳が34.7%、50-59歳が22.4%、60-69歳が21.8%であり、バランスの取れた構成になっている。
ただし、専任教員の男女比については検討の余地がある。

(4)
教養部が設置されており、令和2年度の授業より、楠元キャンパスにて教養部に所属する教員によって教養授業が実施される。

〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。

根拠資料名

キャンパスガイド

歯学部講座別現在員表(令和元年5月1日現在)

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
③	教員の募集、採用、昇任等を適切に行っているか。	(1)	教員の職位(教授、准教授、講師、助教等)ごとの募集、採用、昇任等に関する基準及び手続を設定し、規程を整備していますか。	A
		(2)	規程に沿った教員の募集、採用、昇任等を実施していますか。	A

〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。

(1)
講座主任教授と特殊診療科教授の選任は、「愛知学院大学教員資格選考基準」、「愛知学院大学歯学部講座主任教授・特殊診療科教授選任規程」及び「愛知学院大学歯学部教員資格審査内規」に基づいて進められ、講座主任教授は「歯学部講座主任教授選考並びに審査に関する内規」及び「歯学部講座主任教授選考委員会に関する申合せ」に従い、特殊診療科教授は「歯学部特殊診療科教授選任に関する内規」に従って選考している。
教員を任期を定めて任用する場合には「学校法人愛知学院任期制教員規程」、「愛知学院大学歯学部教員資格審査内規」及び「愛知学院大学歯学部教員の採用及び昇任に関する審査基準の指針」に従って任用している。任期を定めて任用された教員の再任用または専任教員としての採用にあたっては、「学校法人愛知学院任期制教員規程」に基づいて、当該教員の任期中の業績審査は「愛知学院大学歯学部教員資格審査内規」、「愛知学院大学歯学部教員の採用及び昇任に関する審査基準の指針」、その結果に基づいて再任用(助手のみ)または講師以上の専任教員として任用している。
専任教員の評価は「愛知学院大学歯学部教員資格審査内規」及び「愛知学院大学歯学部における教員の活動業績評価指針」に従って行い、結果は当該教員へフィードバックされる。

(2)
講座主任教授の選考は、上記の規程、内規および申合せに従って進められ、公募を原則としている。公募条件は内規に従って組織された選考委員会によって検討され、歯学部教授会に提案されて審議された後、理事会の承認を受けて決定される。
特殊診療科教授の選任は上記の規程と内規に従って進められ、内規に規定された特殊診療科教授選考委員会が候補者の審査に当たる。准教授、講師、助教及び助手の任用にあたっては、当該講座の主任教授が候補者を歯学部教授会に提案し、歯学部教授会は審査を歯学部教員資格審査委員会に委嘱する。審査委員会は「愛知学院大学教員資格選考基準」、「愛知学院大学歯学部教員資格審査内規」(資料6-4)及び「愛知学院大学歯学部教員の採用及び昇任に関する審査基準の指針」に従って審査の上、審査結果を歯学部教授会に報告し、歯学部教授会で審議・承認する。
歯学部教授会で選考された主任教授、特殊診療科教授、准教授、講師の候補者は、全学の代表教授会で審議・承認された後、理事会に諮られ承認されることによって任用される(助教と助手については代表教授会の審議を必要としない)。
教員の准教授、講師および助教への昇任にあたっては、当該教員の所属する講座の主任教授が歯学部教授会に提案し、歯学部教授会は審査を歯学部教員資格審査委員会に委嘱する。審査委員会は「愛知学院大学教員資格選考基準」、「愛知学院大学歯学部教員資格審査内規」及び「愛知学院大学歯学部教員の採用及び昇任に関する審査基準の指針」に従って審査の上、審査結果を歯学部教授会に報告し、歯学部教授会で審議・承認する。准教授、講師への昇任は代表教授会で審議・承認される(助手の助教への昇任については、代表教授会の審議を必要としない)。

〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。

根拠資料名

- 愛知学院大学教員資格選考基準
- 愛知学院大学歯学部講座主任教授・特殊診療科教授選任規程
- 愛知学院大学歯学部教員資格審査内規
- 歯学部講座主任教授選考並びに審査に関する内規
- 歯学部講座主任教授選考委員会に関する申合せ
- 歯学部特殊診療科教授選任に関する内規
- 学校法人愛知学院任期制教員規程
- 愛知学院大学歯学部教員の採用及び昇任に関する審査基準の指針
- 学内理事決裁の件(平成31年2月21日付 No178号)
- 学内理事決裁の件(No178号)

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
④	ファカルティ・ディベロップメント(FD)活動を組織的かつ多面的に実施し、教員の資質向上及び教員組織の改善・向上につなげているか。	(1)	ファカルティ・ディベロップメント(FD)活動を組織的に実施していますか。	A
		(2)	教員の教育活動、研究活動、社会活動等の評価を行い、結果を活用していますか。	B

〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。

- (1)
歯学部には歯学部FD委員会を設置している。歯学部FD委員会は歯学研究科未来口腔医療研究センターと合同で、教員の資質の向上を図るための講演会を2019(平成31)年度に1回開催したが、COVID-19感染症の流行により以後の企画は延期又は担当者間の動画回覧等となった。歯学部は講座制を採用しているため、教育経験の短い教員を講座内の教育経験の長い教員が援助し、教育経験を共有することによっても教育力の向上を図っている。
また、全学的に行われている「学生による授業アンケート」を実施し、その集計結果と各教員の担当する授業に対するアンケート結果を比較することによって、授業の改善点を探ると共に、自己評価することが可能となっている。
- (2)
任期を定めて任用された教員については、上記の如く、「学校法人愛知学院任期制教員規程」、「愛知学院大学歯学部教員資格審査内規」及び「愛知学院大学歯学部教員の採用及び昇任に関する審査基準の指針」に従って当該教員の任期中の業績審査を行っている。任期が定められていない専任教員についても、「歯学部専任教員の評価(審査)に関する内規」及び「愛知学院大学歯学部における教員の活動業績評価指針」に従って一定期間ごとに評価を行い、必要な場合には改善の勧告をしている。

〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。

根拠資料名

- 歯学部FD委員会内規
- 平成31年度 愛知学院大学歯学部 歯科医学教育者のためのセミナーとワークショップ
- 令和2年度 春学期 学生による授業アンケート調査用紙
- 歯学部専任教員の評価(審査)に関する内規
- 愛知学院大学歯学部における教員の活動業績評価指針

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
⑤	教員組織の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)	適切な根拠(資料、情報)に基づく点検・評価を実施していますか。	B
		(2)	点検・評価結果に基づく改善・向上に向けた取り組みを行っていますか。	B
<p>〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p> <p>(1) 歯学部・大学院歯学研究科機構改革推進委員会および学長、法人理事を含めた愛知学院大学歯学部改革実行委員会で教員組織の適切性について検討している。</p> <p>(2) 教養教育担当との連携を強めることとなり、従来、離れたキャンパスで行われていた教養教育が専門教育と同一のキャンパスで行われることとなった。</p>				
<p>〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。</p>				
根拠資料名				
歯学部・大学院歯学研究科機構改革推進委員会規程				
愛知学院大学歯学部改革実行委員会規程				

2. 長所・特色

点検・評価項目番号		長所・特色
		なし
<p>〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。</p>		
根拠資料名		

3. 課題・問題点

点検・評価項目番号		課題・問題点
		なし

4. 課題・問題点に対する改善策

「3. 課題・問題点」の事項の改善策がある場合は、その具体的な計画(既の実施している場合はその進捗状況も含めて)を記述してください。

点検・評価項目番号	改善策

〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。

根拠資料名

5. 「基準6」全体の自己評価

基準全体の評価を、 「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、 「C:重度な問題がある」から選択してください。	自己評価
	A

2020年度(評価対象期間:2020年4月~2021年3月) 自己点検・評価シート

1. 現状説明

※自己評価は、「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、「C:重度な問題がある」いずれかを選択。

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
②	社会連携・社会貢献に関する方針に基づき、社会連携・社会貢献に関する取り組みを実施しているか。また、教育研究成果を適切に社会に還元しているか。	(1)	学外組織との適切な連携体制を構築していますか。地域交流、国際交流事業への参加に取り組んでいますか。	A
		(2)	社会連携・社会貢献に関する活動による教育研究活動を推進していますか。	A
<p>〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p> <p>(1) 歯学部学術交流(国内・国外)委員会を構築し、学外組織との適切な連携を行うことができるよう体制を整えている。「社会連携・社会貢献」担当委員が歯学部における自己点検・評価の項目を策定している。地域交流として一般市民に公開している無料公開講座「モーニングセミナー」や主に中高生を対象としている「ときめきサイエンス」を、国際交流事業として「姉妹校提携」「モンゴル、ラオス(歯学部主導)の大学やNPO等の各種組織と協力し学術交流を推進」等の活動に取り組んでいる。</p> <p>(2) (1)教育における貢献・連携(医療関連大学等)、(2)研究領域における貢献・連携(歯科隣接領域大学との貢献・連携、各種研究機関との貢献・連携)、(共同研究、受託奨など企業と連携)(3)臨床における貢献・連携(寄附講座等)、(4)各省庁関連機関への貢献・連携(厚労省への人材派遣等)、(5)歯科領域の団体との貢献・連携(歯科衛生士会との連携等)、(6)国際協力(姉妹校連携等)、(7)地域への貢献・連携(歯科医師の海外派遣等)等を行っている。(8)愛知学院大学と藤田医科大学にて2018年6月に連携協定締結がなされた。これにより、歯学科を含めた他大学との多職種連携教育(IPE)が開始された。(9)愛知学院大学と名古屋市立大学にて2018年12月に医療分野を中心に教育・研究の充実を目指した包括協定締結がなされた。名市大は医学、薬学など、愛知学院大は歯学、同短期大学部は歯科衛生の各専門分野を生かした医師・歯科医師・教員の人事交流や共同研究、両大学・短期大学部との歯学生を含む愛知学院大学の学生が名市大病院で実習を行うなど連携教育が開始された。</p>				
<p>〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。</p>				
根拠資料名				
愛知学院大学歯学部の社会貢献・社会連携の事例(資料)				
歯学部教授会議事録(令和元年7月24日)				
www.agu.ac.jp > news > file > release > release40 2018/05/30 愛知学院大学と藤田医科大学との連携に関する協定				
www.agu.ac.jp > topics > 2018/12/19 名古屋市立大学と、愛知学院大学、愛知学院大学短期大学部が包括連携協定締結				
www.agu.ac.jp > pdf > guide > data > renkei 2019/08/08 大学間連携協定				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
③	社会連携・社会貢献の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)	適切な根拠(資料、情報)に基づく点検・評価を実施していますか。	B
		(2)	点検・評価結果に基づく改善・向上に向けた取り組みを行っていますか。	B
<p>〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p> <p>(1) 歯学部における社会貢献・社会連携の実践報告に対する、専門的な点検・評価体制は構築されていない。しかしながら、教授会における各種報告並びに議論により点検評価を行っている。 令和2年4月1日に「愛知学院大学歯学部における教員の活動業績評価指針」が制定された。本指針には、歯学部教員における「教育活動、研究活動、臨床活動、大学運営活動及び社会貢献活動の5領域」の活動状況を「教員自己評価表」に記載して作成すること、そして、当該年度の「目標シート(教育・研究・臨床・大学運営・社会貢献の5つの項目に対する目標・達成方法・重みの各項目へ記載)」と共に歯学部へ当該年度末に毎年提出する必要がある旨、明記されている。本指針制定に伴い、「過去5年分の教員業績評価」についても該当する教員については5年毎に提出する旨、明記されている。したがって、教員個人単位で社会連携・社会貢献に関する取り組み状況を毎年振り返りを行うことから、ひいては歯学部としての自己点検・自己評価として捉えることに繋がり、適切に点検・評価することが可能となった。</p> <p>(2) 今後は、歯学部学術交流委員会(国内・国外)が点検・評価の体制を構築し、歯学部内において承認後、点検・評価の業務を同委員会が行う。 令和2年4月1日に「愛知学院大学歯学部における教員の活動業績評価指針」が制定されたことに伴い、評価方法としては「教員自己評価表」は教員個人と所属長が行い、「過去5年分の教員業績評価」は歯学部長が行うことが定められた。したがって、教員は毎年、当該教員は過去5年分の教員業績結果を振り返ることにより、改善・向上に向けた取り組みが可能となった。</p>				
<p>〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。</p>				
根拠資料名				
愛知学院大学歯学部における教員の活動業績評価指針(令和2年4月1日制定)				
愛知学院大学歯学部教員評価委員会規程				
歯学部専任教員の活動業績評価の概要(評価フローチャート)				

2. 長所・特色

<p>有意な成果が見られる事項、先駆性・独自性のある事項がある場合、目標として意図した成果が何であったかを明らかにしたうえで、実際にあがった成果が確認できる根拠を示しながら記述してください。特になし場合は「なし」としてください。</p>	
点検・評価項目番号	長所・特色
	なし
<p>〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。</p>	
根拠資料名	

3. 課題・問題点

理念・目的を実現する上での課題、基礎要件に関する問題、大学としてふさわしい水準を確保する上での問題がある場合、記述してください。特にない場合は「なし」としてください。

点検・評価項目番号	課題・問題点
	なし

4. 課題・問題点に対する改善策

「3. 課題・問題点」の事項の改善策がある場合は、その具体的な計画(既の実施している場合はその進捗状況も含めて)を記述してください。

点検・評価項目番号	改善策
[根拠資料] 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。	
根拠資料名	

5. 「基準9」全体の自己評価

基準全体の評価を、「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、「C:重度な問題がある」から選択してください。	自己評価
	A